

# 建都400年記念事業サポーター ワークショップについて

平成15年12月16日  
実行委員会事務局

## 1. ワークショップの目的

秋田市建都400年記念事業への市民参加を促進するとともに、事業の効率的な運営を図ることを目的に「建都400年記念事業サポーター制度」を設けたところである。これまで49名の登録があり（平成15年12月1日現在）、プレイベント等において活動を行っているが、来年の事業本番に向け、サポーターの自発的意識を高めるとともに、今後の運営に関する提案等を反映するためのワークショップを開催する。

## 2. ワークショップのグループ

### サポーターTシャツ等制作グループ

イベント時に着用するTシャツ等の企画・製作するグループ。デザインや機能などについて意見交換を行う。

また、必要に応じて、記念式典のゲスト等に配付するピンバッジやIDカードのストラップといった小物についても議論の対象とすることを検討する。

### 運営ご意見番グループ

サポーター運営に対する提案・アイデアなどの意見交換を行い、来年のサポーター活動に資する。あくまでサポーター活動に関する事項を対象とし、記念事業のイベント企画等を提案するものではない。

### キャンペーングループ

従来のような広報紙や新聞等を通じたPRなど事務局が主体となって展開する活動ではなく、サポーター自身が広告塔となり、身近で実効ある手法により建都400年を広く周知する草の根キャンペーン活動について意見交換を行い、取り組みが可能なアイデアについては随時実践していく。

## 3. メンバー構成

### 別紙のとおり（希望制）

登録者49名のうち、ワークショップへの参加を希望した38名（参加率 約78%）

## 4. 第1回ワークショップの日程について

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日 時 | 平成15年12月16日（火）15:00～17:00       |
| 場 所 | 秋田市研修棟（第1・4・5研修室）               |
| 内 容 | 15:05～15:15（10分） オリエンテーション（全員）  |
|     | 15:20～16:20（60分） ワークショップ（グループ毎） |
|     | 16:30～17:00（30分） グループ報告（全員）     |

## 5. 今後の日程について

今後は月1回ペースで開催し、来年3月までに計4回の開催を予定していく。

## 建都400年記念事業サポーター ワークショップ（進行案）

平成15年12月16日  
実行委員会事務局

---

### 15:05 ~ 15:15 ( 10 分) オリエンテーション 場所:第1研修室

---

事務局長の挨拶後、資料に基づきワークショップの概略について説明する。(菊地)

~ オリエンテーション終了後、グループ毎にワークショップを行う ~

---

### 15:20 ~ 16:20 ( 60 分) ワークショップ(グループ毎)

---

場所：Tシャツ等制作グループ 第4研修室(担当 藤原・佐藤 )  
運営ご意見番グループ 第5研修室(担当 菊地 )  
キャンペーングループ 第1研修室(担当 脇坂・大森 )

- (1)今回は事務局の担当が進行・まとめ役を行う(次回以降はサポーターで対応)  
また、報告者および書記についてはあらかじめ決定しておく。
- (2)事業計画策定の参考とするため、ワーキンググループの2名(相場氏・森川氏)も各グループをランダムに回る予定。

---

### 16:20 ~ 16:30 ( 10 分) 休 憩

---

---

### 16:30 ~ 17:30 ( 30 分) グループ報告 場所:第1研修室

---

- (1)グループ毎にディスカッションの内容について報告する(各グループ 10分程度)
- (2)報告後、事務局より第2回目の予定などの連絡事項を伝えて解散する。

---

### 第1回ワークショップの進め方に関する留意事項

---

- (1)「今日この場で何かを決定する」のではなく、どのようなモノを作ればよいか、どのような取り組みをすればよいかなど、グループ毎に漠然とした導入のお題を提示し、フリー・ディスカッション形式で進行する。
- (2)サポーター同士のディスカッションを基本とし、事務局担当とのQ & A形式とならないよう留意する。しかし、会議の活性化のためにも担当がファシリテーター(促進者)となり、参加者全員が積極的・能動的に発言できるように配慮する。
- (3)終了10分前にはディスカッションの内容を概略的にまとめたうえで、全体報告する事項について参加者で確認しておく。